

第3回 鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会

【議事概要】

日 時：平成31年1月31日（木） 18:00－20:00

場 所：鎌倉市役所 第3分庁舎1階 講堂

議事要旨

1. 鎌倉地域の交通状況について

- ・カメラによるナンバープレート取得の検証結果と、これにより得られたデータ等に基づく11月紅葉期の車両流動状況、紅葉期、年末年始のETC2.0データによる交通状況等が示された。
- ・分析結果については、当該地域に流入する車両の動向が緻密に把握され、今後詳細な分析に活用できるとの意見があった。

2. 新たなICT・AI技術の活用について

- ・「スマートフォンによる位置情報を用いた総合的人流解析技術」を用い、紅葉期での鎌倉の来訪者の流動について来場方向、車・鉄道の分担状況、鎌倉地域内での来訪状況について示された。
- ・今後のデータ蓄積により、さまざまな分析や予測へ活用ができるとの意見があった。

3. 光ビーコンを活用した交通流分析例について

- ・神奈川県警より、光ビーコンを活用した交通流分析例について報告があった。
- ・国交省把握データと組み合わせて、より詳細な分析を行ってほしいとの意見があった。

4. (仮称) 鎌倉ロードプライシングの周知活動について

- ・鎌倉市からロードプライシングの周知と理解に向けたオープンハウスとシンポジウムの実施状況、その際に頂いた市民からの主な意見の他、シンポジウム参加者のアンケート結果速報にて、回答者の7割の方がロードプライシングについて賛成・どちらかと言えば賛成と回答との報告があった。
- ・ロードプライシングの実施に向けては法整備等の前提条件、技術的課題、売り上げへの影響等への配慮が必要であり、合意形成に向け努力が必要との意見があった。

以上